

管球王国

Stereo Sound

THE TUBE KINGDOM
Vol.64
2012 SPRING

KLANGFILM
G.M.B.H.

Klangfilm-G.m.b.H.
TYPENR. 100000000
FABR. N. 100000000

**JBLランサー101 / ALTEC 604と現代アンプ
実験工房“抵抗”新旧14種のブラインド試聴
ドイツの名機 クラングフィルム「オイロダイン」**

新 忠篤=可変カーブ型モノラル・フォノイコライザーAEO1の製作
那須好男=45シングル・ステレオパワーアンプの製作
大西正隆=300Bシングル・ステレオパワーアンプHK21の製作



反応の速い立体感ある緻密な描写。 スマートで多彩に音色を描き分ける



スピード感と解像感が際立つ

高津 反応が速く、スカッとした気持ちのいい音を聴かせました。EARには、少しダークでウエットな雰囲気を感じさせた独特の鳴り方のイメージがありましたが、それとL101の個性がうまく歩み寄ってブレンドし、新鮮な音楽の作り方をしたと思います。

篠田 ハイスピード、ハイレゾリユーションで、「現代の真空管アンプはこうだよ」という音です。「ロリンズ」は、半世紀前の録音とスピーカーとは思えないコンテンツポラリーな表現。サクセスがもう少しぶわつと豊かに吹き出してくれた方が私には好みですが、スマートで気持ちのいい演奏です。

高津 嫌みのないストレートなジャズです。JBLらしい晴々と澄んだクールな空気感が出て、野太さは後退しますが、背後のエコーまで克明で音像が鮮

やかに立ち上がり、カリブのからっとした音楽の楽しさを表現します。あまり低域を欲張らず、スピーディーに聴かせる鳴らし方で、音楽表現の小気味よい手際を聴かせます。

篠田 「ドリス・デイ」は、リラックスして歌う感じが出て、バックの演奏やコーラスとの溶け合いもよい、好再現です。それに解像感が高く奥行き感もあります。ただ、私の好みでいうと、もう少しこつとりとした味が欲しいところもありますね。

高津 しなやかで柔らかなヴォーカルの肉質感は、EARの真骨頂でしょうね。やや音像の芯が細い傾向はあつて、アメリカンポップスの開けっ広げな図太さがもう少し出ればというところはありますが、楽しく聴かせました。

篠田 「幻想」は、解像感、スピード感のある調和の取れたオーケストラです。ティンパニの迫り来る強打が表現する恐怖感、低域の重厚感ももう少し出てもいいですね。

高津 イントロの管楽器の複雑なハーモニーがすーっと気持ちよく聴こえてき

KT90 | Parallel Push-Pull

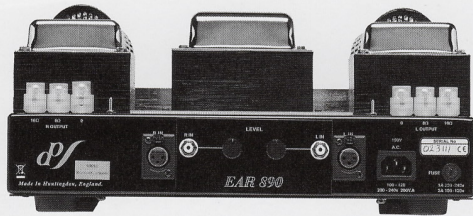
EAR
EAR 890

¥998,000

●出力:70W+70W(8Ω) ●入力端子:LINE2系統(RCAアンバランス、XLRバランス) ●入力感度/インピーダンス:1V/47kΩ ●負荷インピーダンス:8、16Ω ●使用真空管:ECC83×2、ECC85×2、KT90×8 ●寸法/重量:W405×H165×D405mm/24kg ●問合せ先:ヨシノレーディング(株) ☎050(3375)3975

PROFILE

KT90によるパラレル・シングル・エンデッド・プッシュプル。ECC83で組む初段、ECC85で組むドライバー段ともに差動回路を採用し、充分なドライブ電圧を確保する。トランス類は自社製を採用。バランス入力1系統を装備する。

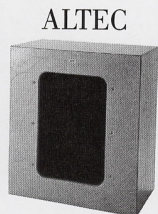


リアパネル
スピーカー出力端子は2系統で8Ωと16Ωに対応する。



自社銘(EAR)
KT90

ます。明るくライトな表現は、JBLらしさといえるでしょうね。イギリスの音の美質がスピーカーにうまく溶け込んだ、柔らかな上品な弦の分解能は圧巻です。こまかなヴィブラートまでよく聴かせて、艶消しの艶といえそうな美しさが出ます。風通しよく爽やかですが、コクがあります。ドロドロしたような断頭台の怖さは確かに出にくい



ALTEC
604E
+
612A

んですが、響きが透明で、音楽が表現する物語の進行を万華鏡のように目の前に展開します。納得のいく、スケールの大きな描き方です。

気持ちに染み渡るウォールカル表現

篠田 明るく朗々とした鳴り方で、L101より、前へ出てくる力感、エネルギー感があります。「ロリンス」は明朗で快活なサククスをエネルギーギッシュに再現し、ドラムスも軽快に弾みます。スピードと分解能のあるスマートな音ですが、やはり、もう少し粘っこさが出ればなお好ましいですね。

高津 半世紀前のモニタースピーカーが覚醒したような、現代的に研ぎ澄まされた鳴り方です。サククスが明るくからつとして、音色のデリカシーを克明に伝えます。本機の身上といえる表現力の多彩さと、モニタースピーカーである604の懐の広さが相俟って、古さの微塵もないジャズが聴けました。ただ、艶っぽく明るいけれど、ややライトな傾向で、パワフルという鳴り方ではない。604との組合せとして、そこをどう判断するのでしょうかね。

篠田 「ドリス・デイ」は解放感溢れる伸びやかなヴォーカルです。しなやかで張りのある歌声がセンター空間に明確に描き出されます。604ならではの定位感の良さが見事に表れた再現でした。

「二は、スタジオオユースのアンプも数多く設計しています。その意味では、604を鳴らすのに絶好の資質を持つアンプといえるかもしれません。声の質感や歌い手の表情も豊かに出て、モニターするには絶好といえる鳴り方です。

高津 気持ちに染み渡ってくるようなウォールカルの表現力です。L101に比べてややソリッドな表現ですが、同軸型モニタースピーカーならではの、フォーカスの合った説得力とエネルギーは、いっただん立派な音楽に聴かせます。

伴奏も克明に表現し、そこからウォールカルが実体感を伴って再現される、素晴らしい再生でした。

篠田 「幻想」は、弦のアルコの雰囲気、管楽器の艶つぼさが、アンプの解像力の高さを感じさせます。楽器の距離感、立体感が感じられる緻密な描写です。低音楽器の伸びや膨らみがもう少し出れば、曲想がいつそうよく表現されるうです。

高津 しなやかできめこまかく上品で、持ち前の、音色の多彩な描き分けの能力をたっぷり注ぎ込んだ鳴らし方です。アルテックならではの明るい音色が聴けて、もうひと押しファンダメンタルのエネルギーが加われば、さらに好ましいでしょうね。

設計者のティム・デ・パラヴィチ

Phono Equalizer Amp.

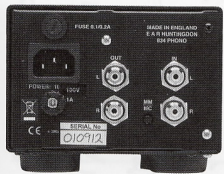
EAR
EAR834P Deluxe

¥278,000

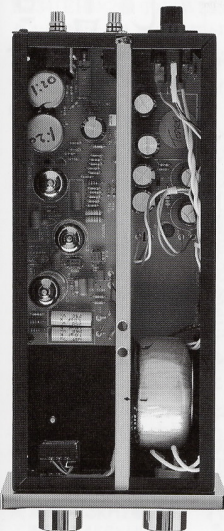
●入力端子:1系統(RCAアンバランス)●出力端子:1系統(RCAアンバランス)●入力感度:MM 2.2mV/47kΩ, MC 0.22mV/5Ωまたは40Ω●最大出力:30V●使用真空管:ECC83×3●寸法/重量:W140×H105×D325mm/3.5kg●備考:5Ω仕様/40Ω仕様が選択可能。ポリウムなし仕様(¥265,000)あり●問合せ先:ヨシノトレーディング(株) ☎050(3375)3975



フロントパネルの仕上げは高級感のあるクロームメッキで、電源に加えてポリウムコントロールのつまみも配置されている。



入力と出力はそれぞれ1系統とシンプル、さらに内部の信号経路も極力短く設計されている。MCには昇圧トランスで対応するが、MM/MCの切り替えスイッチはリアパネルに配置されている。

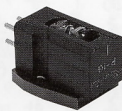


使われる真空管は3本の双3極管ECC83/12AX7。パラヴィッチーニ自身が設計したトロイダルトランスで管球式フォノイコライザーとして極めて高い静粛性を実現したという。回路はシンプルな設計で配線材も極力短く、RCAジャックは基板に直付けされている。

回路は3本のECC83(12AX7)を採用したオードドックシステムで、オリジナルからの変更はとくに発表されていない。NF型EQによるMM/MC対応で、パラヴィッチーニ自らデザインしたMCトランスを内蔵する(仕様は

2ヴァージョン)。MM/MCの切換えスイッチは背面に装備されている。試聴は5Ωトランス内蔵ヴァージョンで実施。まずはポリウムを12時の位置で固定し、プリアンプ経由で試聴。カートリッジはフェーズテックP1G。潑刺とした勢いと躍動感を感じさせる音だ。情報量はたっぷり豊満で、どこかの帯域で切ってもみずみずしい響きが溢れ出すという感じの音楽性を有している。モリモリとしたローエンドの厚み、充実も含め、これはまごうことなきEARのサウンド。

試聴に使用したカートリッジ



フェーズテック P1G ¥286,000
●発電方式:MC型●出力電圧:0.27mV以上(1kHz, 5cm/sec)●インピーダンス:4Ω●適正針圧:1.7~2.0g●カートリッジ自重:10.2g●針交換価格:¥171,600●問合せ先:協同電子エンジニアリング(株) ☎045(934)5234

試聴に使用したアナログプレーヤー

ミッチェルエンジニアリング GyroDec-UNV2 ¥610,000
●問合せ先:東志(株) ☎03(5423)5511

EARのベストセラー機がリニューアルしてポリウム装備で使い勝手も向上。潑刺とした勢いと躍動感を感じる情報量豊かな音で、みずみずしい音楽性の高さはEARならではの——小原由夫

ファンにとって、アナログ・スタンドアロンの存在は購買欲をそそるに違いない。

が上がる。まさしくストレスフリーの勢いを感じさせる音だ。CD等のデジタルソースは聴かない、あるいは専用システムを備えようと考えているアナログ